# 山下蒼空さんの自分ストーリー

## 1. 自己紹介

兵庫県赤穂市の出身です。趣味の一つが旅行で、これまでに 18 ヵ国、42 都道府県に行きました。小中高と公立校に通い、大学はマレーシアの Asia Pacific University of Innovation and Technology に留学しました。現在は東京で SE（システムエンジニア）として日系企業のデジタル化を支援する仕事をしています。

## 2. 海外への扉を開いたきっかけ

中 1 の時にインドネシアのスラバヤで開催された「アートマイル環境ユースサミット」に参加しました。その時に、英語でのプレゼンは練習していたからできたけれど、円卓を囲んでのグループディスカッションとなると、8 人のグループで日本人は自分一人。英語が全く聞き取れず、話すこともできず、号泣しました。それがメチャクチャ悔しかった！

それまでインドネシアは発展途上国というイメージだったけれど、同世代のインドネシア人は英語はペラペラ、考えていることをはっきり話すことに驚き、自分が話せないことが本当に悔しくて、「世界の人と対等に話すことができる英語力を身に付けたい！グローバルに活躍できる大人になりたい！」と思いました。これが私が海外に目を向けるようになったきっかけです。

## 3. 高校時代

カンボジアで日本語教師のボランティア、タイ北部の山岳民族支援に挑戦しました。ボランティア活動を通して疑問に思ったのは、「一度っきりの、しかも短期間のボランティアで何ができたのだろう？その後の現地の人達の生活はどうなったんだろう？」ということでした。「現地の人が持続的に自立することが大事だ。そのためには自立して生活できるような経済発展の仕組み作りが必要だ。」と痛感しました。そして、もっといろんな世界を見てみたいと思うようになりました。

## 4. マレーシアの大学に留学

海外の大学への留学したいと思ったものの、なかなか踏み出せませんでした。高 1 の時に先生に「海外の大学に行きたい」と言ったら、「日本の国立大学へ行った方が、良い会社に入れて、良い人生が送れるよ。」言われました。その言葉はショックでしたが、控えめな性格だったので「分かりました。」と言って、受験勉強を続けました。それでも海外への憧れは消えず、受験勉強をしながらこっそり親にも先生にも内緒で海外の大学のことを調べたり、マレーシアの大学の説明会に行ったりしていました。

高 3 の 12 月というギリギリの時期に、「マレーシアの大学に行きたい！一生後悔したくない！」と親に号泣して自分の気持ちを説明しました。有り難いことに両親は理解してくれて、応援してくれました。学校には願書に必要な成績表を書いてもらわなくては

ならないので先生にお願い（説得？）しました。
英語は大学の授業を受けられるほどの力はなかったので、高校の卒業式の 3 日後にフィリピンに飛んで、大学に必要な英語力を付ける超スパルタ校に行き、2 ヶ月間寝る間も惜しんでひたすら勉強しました。なんとか IELTS で大学入学に必要な点数を取ることができ、入学への切符を摑みました。

しかし、大学でも初めの頃は英語が聞き取れず、プレゼンやディスカッションに苦労しました。それを克服できたのは「友情の力」でした。こちらから積極的にコミュニケーションを取ることで多くの友だちができました。英語を教えてもらう代わりに日本語を教えてあげる「言語交換」をすることで授業についていけるようになりました。

大学 3 年生の時にコロナ禍で大学が閉鎖したので一時帰国しました。その時に事業再生のインターンシップに参加して週 5 日フルタイムで 4 ヵ月働きました。事業再生とは潰れそうな会社を建て直すことです。これが日本の企業にも目を向けるきっかけとなり、日系企業のグローバル展開に興味を持つようになりました。そして海外ではなく日本の企業で働くことに決めました。大学で FinTech（経済×テクノロジー）を勉強していたこともあり、IT が重要であることを実感しているので、現在は IT 分野で日本企業のグローバ展開の支援をしています。

**4．マレーシア留学で得たもの**

（1）行動力

留学中は、たくさん失敗を経験しました。でも、失敗を恐れずにチャレンジし、行動することで自分の成長を実感することができました。

（2）コミュニケーション力

自分とは違う価値観やバックグラウンドを持つ人がいることを理解して対話ができるようになりました。

（3）どこでも生きていく力

言葉も文化も違う慣れない環境で過ごすことで、どんな場所でも生きていける自信と、困難を盛り越える力を得ました。

**5．みなさんへのメッセージ**

この時間が、皆さんの将来の選択肢を考えるきっかけになれば嬉しいです。私は学生時代に「どんなことをやりたいんだろう？」と悩みに悩みました。今は社会人になって働いていますが、今も自分の未来に迷っています。でも、迷って当たり前！悩んで当たり前！未来への道は一つじゃないです。世界は広く、可能性は無限大です。自分が興味があることにチャレンジして、冒険してみてください。